

「B.A」 「From Loss To Beauty」 が 2026年度「グッドデザイン賞」を受賞

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小林 琢磨）が展開するポーラ最高峰ブランド「B.A」、および「From Loss To Beauty」は、この度、2026年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。



ポーラ最高峰ブランド「B.A」 生命の複雑な美しさを表現



B.Aブランド誕生時のポーラ最先端※1の研究から生み出されたバイオアクティブ理論※2と感性品質の追求により、肌だけでなく生き方の美しさを問い続けてきたエイジングケア※3ブランド。今回受賞したデザインでは、「生命美」をテーマに、人が持つ弱さと強さ、正と負といった相反する要素を内包する複雑な美しさを表現しました。何度もドロ잉と塑像を繰り返し、人の手によって生み出される有機的な造形にこだわることで、画一的ではない唯一無二のフォルムを実現。置く場所や時間、角度によって様々な表情を見せる造形美で、見る角度によっても表情を変える、独自の存在感を持つデザインへと昇華させました。視覚だけでなく触覚にも着目し、手馴染みの良さや使用時の心地よさを追求。付け替えリフィル仕様や植物由来PET・リサイクルPETの一部採用など、環境にも配慮した設計となっています。

※1：B.A誕生当時のポーラにおける最新 ※2：人が本来持つ可能性を引き出す考え方のこと
※3：年齢に応じたハリのお手入れ

地域資源に着目したブランド「From Loss To Beauty」 失われるものを美しさへ変えることをイメージしたデザイン

「From Loss To Beauty」は、「失われるものを美しさに変えていく」をコンセプトに、本来捨てられてしまう資源を、美しさにつながる新しい価値へと転換し、地域活性へつなぐブランド。自治体・大学・企業による産官学連携のもと、地域に眠る資源を活用した商品開発を進めています。今回受賞したデザインは、「自分ごとになりにくい社会課題を自分ごととして感じてもらうこと」を目指した表現です。地域特有の風景や素材を想起させる印象的なカラーリングを採用し、サステナブルを考えた取り組みを生活者が楽しく身近に感じられる表現を追求。箱の内側にはブランドメッセージを配置し、製品を手にとることで地域活性化や資源循環への参画を感じられるような設計としました。日常の消費行動が自然と社会貢献につながる体験を提供しています。



グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみです。国内外の多くの企業や団体が参加し、暮らしや社会をより良くするデザインを評価する活動として広く認知されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は、優れたデザインの象徴として親しまれています。

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドコミュニケーション部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198 e-mail：pola_pr@pola.co.jp

【メディアに掲載いただくお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111